

# 災害と景観・デザイン

～東日本大震災から10年、そして頻発する災害～

2020年12月4日（金）18:30-21:00 Web形式で開催

## プログラム

1. 開会挨拶：景観・デザイン委員会 委員長 齋藤 潮
2. 趣旨説明：景観・デザイン委員会 幹事長 平野勝也
3. 対談「島谷幸宏×中井祐」（聞き手：中村晋一郎）
4. 総合討論（コーディネーター：中村晋一郎）
5. 閉会挨拶：景観・デザイン研究編集小委員会 委員長 高楊裕幸

## 対 談

# 島谷幸宏×中井祐



島谷幸宏

九州大学 教授  
専門は河川工学，河川環境，最近は，地域づくり，小水力発電導入等に取り組んでいる。住民参加の川づくり，多自然川づくり，トキの野生復帰，自然再生，川の風景デザイン，流域全体での治水，技術者の技術力向上など精力的に取り組んでいる。曾木の滝分水路のデザインなど災害復旧であっても河川デザインを推進する川づくりの第一人者



中井祐

東京大学 教授  
専門は景観論，近代土木デザイン史，公共空間・公共施設のデザインとまちづくり，岸公園，河戸堰などの土木デザイン，牛久市，竹田市，山中湖村などのまちづくりに実践的に参画する一方で，景観論の深化に精力的に取り組んでいる。大槌町の復興に参画し，実務的に住民とともに復興まちづくりを推進する第一人者

## 聞き手・コーディネーター：中村晋一郎



中村晋一郎

名古屋大学 准教授  
専門は国土デザイン学，水文学，水資源学，市民団体「善福寺川を里川にカエル会」共同代表等を務め，水辺や健全な水循環の再生に向けた実践を行っている。災害と景観・デザインを結びつける気鋭の研究者

東日本大震災から10年を迎えようとしている。その後も多くの地震，水害などにより，多大な被害が発生している。そうした復興や災害復旧の中で，優れた環境や景観が生み出される一方で，復興災害とも言えるような風景も出現してしまっている。こうした災害の時代における景観・デザインはどうあるべきなのか？ 具体のデザイン論から風土論，さらには日本において人と自然はどのように関わっていくべきなのか，今一度，議論を深めたい。

主催：土木学会 景観・デザイン委員会

参加方法：土木学会「[本部主催行事の参加申込](#)」サイトからお申し込みください。メールにてシンポジウムのURLを別途お知らせします

CPD：調整中

問合せ先：土木学会研究事業課 小澤一輝 職員

E-mail: k-ozawa@jsce.or.jp

Tel: 03-3355-3559/Fax: 03-5379-0125

